



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 丸順 上場取引所 名  
 コード番号 3422 URL <https://www.marujun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 齊藤 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 棚橋 哲郎 (TEL) 0584-48-2832  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年11月25日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,281	△17.6	1,731	△5.5	1,565	2.6	990	4.1
2020年3月期第2四半期	23,390	△2.5	1,832	△20.7	1,526	△20.4	950	△19.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 701百万円(△6.9%) 2020年3月期第2四半期 752百万円(△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	83.60	—
2020年3月期第2四半期	80.19	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	44,633	15,221	28.1
2020年3月期	47,412	14,744	25.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,544百万円 2020年3月期 11,959百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2021年3月期	—	4.00			
2021年3月期(予想)			—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△13.5	3,800	△12.5	3,200	△15.9	2,000	△17.7	168.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,857,200株	2020年3月期	11,857,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	75,189株	2020年3月期	289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	11,844,137株	2020年3月期2Q	11,856,965株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの影響により、依然として厳しい状況が続いているものの、段階的な経済活動の再開により、持ち直しの動きが見られ緩やかな回復傾向にあります。米国では、外需の増加による生産の持ち直し及び雇用増加による失業率の低下等の影響により景気は回復基調にあります。欧州では、機械設備投資の下げ止まりに加え、個人消費や生産及び輸出の下支えにより回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス第2波への警戒から回復のペースは緩慢な傾向にあります。中国では、世界に先駆けて経済活動を再開しており、政府の投資促進策や輸出増加の影響を受け、景気は回復傾向が持続しております。日本では、企業収益は大幅な減少が続いているものの、国内外の需要増加に伴う企業生産活動の持ち直しにより、景気は第1四半期に比べ緩やかな改善傾向にあります。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、新型コロナウイルスの影響及び需要減少への対応で主要メーカーが操業を一時的に停止した影響により、販売台数は減少しております。中国では、政府の支援策推進により、自動車市場は回復傾向にあるものの、第1四半期における新型コロナウイルスの影響に加え、海外市場における需要減少等の影響により、販売台数は減少しております。日本では、足元の需要は持ち直しの傾向にあるものの、販売台数は前年同四半期に比べ低水準の状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の3年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,281百万円（前年同四半期比17.6%減）、営業利益は1,731百万円（前年同四半期比5.5%減）、経常利益は1,565百万円（前年同四半期比2.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は990百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、物流効率化による輸送コスト削減等の取組みを推進したものの、部品事業での新型コロナウイルス影響による主要客先の生産停止及び生産減少影響により、売上高、利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は7,402百万円（前年同四半期比10.9%減）、経常利益は1,137百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、新型コロナウイルスの影響により主要客先において自動車部品の生産停止及び生産減少となり、売上高は減少いたしました。また、継続的な製造原価低減に取り組んだほか、要員削減を実施したものの、生産停止及び生産減少に伴う減収の影響が大きく、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,825百万円（前年同四半期比32.6%減）、経常損失は13百万円（前年同四半期は23百万円の経常利益）となりました。

#### (広州)

広州においては、新型コロナウイルスの影響により2月から3月にかけて生産停止及び生産減少となり売上高は減少いたしました。また、要員適正化及び設備集約等の生産効率改善による固定費低減に取り組んだほか、生産停止に伴う費用を特別損失に振り替えたものの、生産停止及び生産減少に伴う減収の影響により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は6,364百万円（前年同四半期比16.3%減）、経常利益は294百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、新型コロナウイルスの影響により2月から3月にかけて生産停止及び生産減少となり売上高は減少いたしました。なお、労務費及び経費等の継続的な製造原価低減の取組みのほか、量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収及び生産停止に伴う費用の特別損失への振り替え等により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は4,205百万円（前年同四半期比15.7%減）、経常利益は779百万円（前年同四半期比54.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、44,633百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,779百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が642百万円増加、受取手形及び売掛金が2,672百万円減少、機械装置及び運搬具並びに工具、器具及び備品等の有形固定資産が966百万円減少したこと等が要因であります。

負債総額は29,411百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,256百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,084百万円減少、短期借入金が574百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が7,500百万円減少、社債が1,500百万円増加、長期借入金が4,885百万円増加したこと等が要因であります。

純資産総額は15,221百万円となり、前連結会計年度末と比較し、477百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が942百万円増加、為替換算調整勘定が333百万円減少、非支配株主持分が107百万円減少したこと等が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2020年4月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年10月29日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,859	10,502
受取手形及び売掛金	11,542	8,870
有価証券	200	100
商品及び製品	396	327
仕掛品	2,333	2,446
原材料及び貯蔵品	707	765
その他	660	669
流動資産合計	25,701	23,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,990	4,714
機械装置及び運搬具（純額）	6,924	6,520
工具、器具及び備品（純額）	5,366	5,114
土地	639	624
リース資産（純額）	529	470
建設仮勘定	2,041	2,081
有形固定資産合計	20,491	19,525
無形固定資産	216	207
投資その他の資産		
その他	1,010	1,230
貸倒引当金	△7	△11
投資その他の資産合計	1,002	1,219
固定資産合計	21,711	20,952
資産合計	47,412	44,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,764	4,680
短期借入金	11,520	10,945
1年内返済予定の長期借入金	9,906	2,405
リース債務	145	52
未払法人税等	288	342
賞与引当金	169	228
役員賞与引当金	11	5
その他	3,403	2,951
流動負債合計	31,210	21,610
固定負債		
社債	—	1,500
長期借入金	—	4,885
リース債務	28	20
退職給付に係る負債	1,193	1,154
役員株式給付引当金	—	2
資産除去債務	232	234
その他	3	2
固定負債合計	1,457	7,800
負債合計	32,667	29,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950	1,950
資本剰余金	1,967	1,967
利益剰余金	6,932	7,875
自己株式	△0	△42
株主資本合計	10,850	11,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	17
為替換算調整勘定	1,182	848
退職給付に係る調整累計額	△87	△73
その他の包括利益累計額合計	1,108	792
非支配株主持分	2,784	2,677
純資産合計	14,744	15,221
負債純資産合計	47,412	44,633

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	23,390	19,281
売上原価	19,997	16,155
売上総利益	3,393	3,125
販売費及び一般管理費	1,561	1,393
営業利益	1,832	1,731
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	3	2
為替差益	—	14
助成金収入	1	53
債務勘定整理益	22	—
その他	17	20
営業外収益合計	74	127
営業外費用		
支払利息	255	208
為替差損	92	—
その他	32	85
営業外費用合計	380	293
経常利益	1,526	1,565
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	330
投資有価証券評価損	0	—
その他	—	3
特別損失合計	0	334
税金等調整前四半期純利益	1,526	1,233
法人税等	420	134
四半期純利益	1,106	1,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	950	990



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	1,106	1,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	3
為替換算調整勘定	△361	△415
退職給付に係る調整額	11	14
その他の包括利益合計	△353	△398
四半期包括利益	752	701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693	674
非支配株主に係る四半期包括利益	59	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
(税金費用の計算)	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,878	4,110	6,855	4,545	23,390
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	425	79	746	439	1,691
計	8,304	4,190	7,601	4,985	25,082
セグメント利益	1,220	23	370	504	2,119

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,119
セグメント間取引消去	△44
子会社配当金	△563
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の経常利益	1,526

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,948	2,786	5,690	3,855	19,281
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	453	39	674	349	1,516
計	7,402	2,825	6,364	4,205	20,798
セグメント利益又は損失(△)	1,137	△13	294	779	2,197

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,197
セグメント間取引消去	△90
子会社配当金	△538
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	1,565

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

会計上の見積りにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響については、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容からの変更はありません。

(役員向け株式交付信託)

当社は、2020年6月26日開催の第62回定時株主総会決議に基づき、当社取締役(社外取締役及び非業務執行取締役を除く。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(以下総称して「取締役等」という。)を対象とする株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度です。

なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時です。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第2四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額は41百万円、株式数は74,900株であります。

# 2021年3月期第2四半期 連結決算概要（参考資料）

2020年10月30日

3422 株式会社 丸順

(単位:百万円)

## 1. 連結業績及び今期の見通し

		2020年3月期第2四半期		2021年3月期第2四半期		前年同四半期比		2021年3月期(予想)	
		実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率	予想値	売上比
損益	売上高	23,390		19,281		▲4,109	▲17.6%	42,000	
	営業利益	1,832	7.8%	1,731	9.0%	▲100	▲5.5%	3,800	9.0%
	経常利益	1,526	6.5%	1,565	8.1%	39	2.6%	3,200	7.6%
	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	950	4.1%	990	5.1%	39	4.1%	2,000	4.8%
	1株当たり四半期(当期)純利益	80.19円		83.60円		3.41円	4.3%	168.85円	
指標	自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	9.7%		8.6%		▲1.1%		15.4%	
	総資産経常利益率(ROA)	3.2%		3.4%		0.2%		7.2%	
投資償却	設備投資	2,921		1,307		▲1,614	▲55.2%	4,685	
	減価償却費	2,166		1,802		▲364	▲16.8%	3,721	
	配当金	47		47		0	0.0%	94	
為替	米ドル	109.00円		106.68円		▲2.32円	▲2.1%	105.00円	
	タイバツ	3.47円		3.45円		▲0.02円	▲0.6%	3.20円	
	人民元	16.22円		15.37円		▲0.85円	▲5.2%	15.00円	

### ■ 2021年3月期第2四半期決算のポイント

### ■ 2021年3月期業績予想について

・売上高は新型コロナウイルスの影響により、全てのセグメントにおいて減収。特にタイにおいては30%以上の減収。  
 ・利益面は、タイにおける要員削減等の固定費削減や中国における工場集約等の原価低減の取組みに加え、中国において新型コロナウイルス影響による生産停止に伴う費用を特別損失に振り替えたこと等により、営業利益は過去3番目となった。また、2020年9月末のリファイナンスにより金融関連費用が減少したことに加え、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い法人税等が減少したこと等により経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は過去2番目となった。  
 ・2020年4月30日開示の連結業績予想に対しては、中国において新型コロナウイルスの影響による主要客先の生産が想定以上に回復したことに加え、上記理由等により、売上高及び利益ともに業績予想数値を上回った。

・2020年10月29日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて上方修正を発表。  
 ・中国において主要客先の自動車生産が堅調に推移することに加え、上期に前倒しで実施した固定費削減や原価低減の取組みの効果が継続する見通し。  
 ・配当は中間4円、期末は業績予想の修正を踏まえ4円。業績は前期比減収減益を見込むが、配当については前期以上を維持する方針。

### ■ 過去実績との比較

### ■ 営業利益増減要因

	過去実績との比較	増減要因		金額	減減要因	金額
		増減	金額			
売上高	・2期連続減収 ・全拠点で減収	原価低減等の取組みによる利益増		+507百万円	売上減少に伴う利益減	▲711百万円
		販管費低減の取組みによる利益増		+167百万円	為替影響	▲63百万円
営業利益	・2期連続減益【過去3番目の利益額】 ・武漢は大幅増益、日本・タイ・広州は減益					
経常利益	・2期振りの増益【過去2番目の利益額】			+674百万円		
四半期純利益	・2期振りの増益【過去2番目の利益額】	計			計	▲774百万円
				差引 営業利益の増減		▲100百万円

## 2. セグメント情報

		2020年3月期第2四半期		2021年3月期第2四半期		前年比		増減要因等
		実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率	
日本(丸順)	売上高	8,304		7,402		▲901	▲10.9%	・コロナウイルス影響により主要客先向け自動車部品生産が減少 ・部品事業の下振れをエンジニアリング事業で補填 ・物流効率化による輸送コスト削減に取り組む
	経常利益	1,220	14.7%	1,137	15.4%	▲83	▲6.8%	
タイ	売上高	4,190		2,825		▲1,364	▲32.6%	・コロナウイルス影響により4月以降に主要客先向け自動車部品生産が減少 ・量産車種終了に伴う金型投資費用回収による一時的な利益押上げ要因あり ・要員削減等の固定費削減の取組みを前倒しで実施
	経常利益	23	0.6%	▲13	▲0.5%	▲36		
中国(広州)	売上高	7,601		6,364		▲1,237	▲16.3%	・コロナウイルス影響により2月から3月にかけて主要客先向け自動車部品が生産停止及び生産減少、4月以降は改善 ・生産ライン集約等生産効率化の取組みを前倒しで実施 ・生産停止に伴う費用を新型コロナウイルスによる特別損失へ振替
	経常利益	370	4.9%	294	4.6%	▲76	▲20.5%	
中国(武漢)	売上高	4,985		4,205		▲780	▲15.7%	・コロナウイルス影響により2月から3月にかけて主要客先向け自動車部品が生産停止及び生産減少、4月以降は改善 ・量産車種終了に伴う金型投資費用回収による一時的な利益押上げ要因あり
	経常利益	504	10.1%	779	18.5%	274	54.4%	